

認定権者記載欄

様式第5-(イ)-⑬

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書(イ-⑬)

令和 年 月 日

(あて先) 川 崎 市 長

申請者

住 所

氏 名

(名称及び代表者の氏名)

私は、表に記載する業を営んでいるが、新型コロナウイルス感染症の発生の影響に起因して、下記のとおり、売上高等の減少が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

記

(表)

※表には、指定業種であって、売上高等の減少が生じている事業が属する業種(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を記載。当該指定業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する指定業種を左上の太枠に記載。

売上高等

(1) 最近3か月間の企業全体の売上高等に対する、上記の表に記載した指定業種(以下同じ。)に属する事業の最近1ヶ月間の売上高等の減少額等の割合

$$\frac{C-A}{(D+E) \div 3} \times 100$$

割合

%

A: 申込時点における最近1か月間の指定業種に属する事業の売上高等

円

B: Aの期間前2か月の指定業種に属する事業の売上高等

円

C: 最近3か月間の指定業種に属する事業の売上高等の平均

円

$$\frac{A+B}{3}$$

3

D: Aの期間に対応する企業全体の売上高等

円

E: Bの期間に対応する企業全体の売上高等

円

(2) 企業全体の売上高等の減少率

$$\frac{F-D}{(D+E) \div 3} \times 100$$

減少率

%

F: 最近3か月間の企業全体の売上高等の平均

円

$$\frac{D+E}{3}$$

3

川崎市証明経融第

号

令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間: 令和 年 月 日から 令和 年 月 日

川崎市長 福田紀彦

(注1) 本様式は、業歴3ヶ月以上1年1ヶ月未満の場合あるいは前年以降、事業拡大等により前年比較が適当でない特段の事情がある場合で、指定業種に属する事業の売上高等の減少が申請者全体の売上高等に相当程度の影響を与えていることによって、申請者全体の売上高等が認定基準を満たす場合に使用する。

(留意事項) ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

これは計算書です。「申請書【様式第5-(イ)-⑬)】」を2枚用意してください

中小企業信用保険法第2条第5項第5号-(イ)-⑬の業種別売上高計算書

最近1か月間の売上高等

(令和 年) (月) (月) (月)

指定業種の 売上高等	B1	B2	B=(B1+B2)	A
全体の 売上高等	E1	E2	E=(E1+E2)	D

C:最近3か月の指定業種に属する事業の売上高等の平均

$$\frac{\boxed{A} + \boxed{B}}{3} = \boxed{C}$$

F:最近3か月の企業全体の売上高等の平均

$$\frac{\boxed{D} + \boxed{E}}{3} = \boxed{F}$$

(1)最近1か月間の指定業種の売上高等の減少額等の割合

$$\frac{\boxed{C} - \boxed{A}}{\boxed{F}} \times 100 = \boxed{} \text{ 指定業種の最近1か月の減少額の割合} \%$$

(2)企業全体の売上高等の減少率

$$\frac{\boxed{F} - \boxed{D}}{\boxed{F}} \times 100 = \boxed{} \text{ 企業全体の売上高等の減少率} \%$$

○金融機関名

支店長名 (署名捺印)

○税理士または公認会計士 (署名捺印)

認定権者記載欄

様式第5-(イ)-⑭

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書 (イ-⑭)

令和 年 月 日

(あて先) 川 崎 市 長

申請者

住 所

氏 名

(名称及び代表者の氏名)

私は、表に記載する業を営んでいるが、新型コロナウイルス感染症の発生の影響に起因して、下記のとおり、売上高等の減少が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

記

(表)

※表には、指定業種であって、売上高等の減少が生じている事業が属する業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を記載。当該指定業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する指定業種を左上の太枠に記載。

売上高等

(1) 令和元年12月の企業全体の売上高等に対する、上記の表に記載した指定業種（以下同じ。）に属する事業の最近1ヶ月間の売上高等の減少額等の割合

(イ) 最近1か月間の売上高等

$$\frac{B-A}{C} \times 100 \quad \text{割合} \quad \%$$

A：申込時点における最近1か月間の指定業種に属する事業の売上高等 円

B：令和元年12月の指定業種に属する事業の売上高等 円

C：令和元年12月の企業全体の売上高等 円

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{(B \times 3) - (A + D)}{C \times 3} \times 100 \quad \text{割合} \quad \%$$

D：Aの期間後2か月間の指定業種に属する事業の見込み売上高等 円

(2) 企業全体の売上高等の減少率

(イ) 最近1か月間の売上高等

$$\frac{C-E}{C} \times 100 \quad \text{減少率} \quad \%$$

E：Aの期間に対応する企業全体の売上高等 円

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{(C \times 3) - (E + F)}{C \times 3} \times 100 \quad \text{減少率} \quad \%$$

F：Eの期間後2か月間の企業全体の見込み売上高等 円

令和 年 月 日

川崎市証明経融第 号

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日

川崎市市長 福田紀彦

(注1) 本様式は、前年以降、事業拡大等により前年比較が適当でない特段の事情がある場合で、指定業種に属する事業の売上高等の減少が申請者全体の売上高等に相当程度の影響を与えていることによって、申請者全体の売上高等が認定基準を満たす場合に使用する。

(留意事項) ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

これは計算書です。「申請書【様式第5-(イ)-(14)】」を2枚用意してください

中小企業信用保険法第2条第5項第5号-(イ)-(14)の業種別売上高計算書

最近1か月間の売上高等

(令和 年) (月) (月) (月)

指定業種の 売上高等	A	D1	D2	=	D=(D1+D2)
全体の 売上高等	E	F1	F2	=	F=(F1+F2)

令和元年12月の売上高等

(令和元年) (12 月)

指定業種の 売上高等	B
企業全体の 売上高等	C

(1)(イ)直近1か月間の売上高等の減少額等の割合

$$\frac{B - A}{C} \times 100 = \text{割合} \quad \% \quad \boxed{}$$

(1)(ロ)直近3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{B \times 3 - A + D}{C \times 3} \times 100 = \text{割合} \quad \% \quad \boxed{}$$

(2)(イ)最近1か月間の企業全体の売上高等の減少率

$$\frac{C - E}{C} \times 100 = \text{減少率} \quad \% \quad \boxed{}$$

(2)(ロ)最近3か月間の企業全体の売上高等の減少率(実績見込み)

$$\frac{C \times 3 - E + F}{C \times 3} \times 100 = \text{減少率} \quad \% \quad \boxed{}$$

○金融機関名

支店長名 (署名捺印)

○税理士または公認会計士 (署名捺印)

認定権者記載欄

様式第5-(イ)-⑮

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書 (イ-⑮)

令和 年 月 日

(あて先) 川 崎 市 長

申請者

住 所

氏 名

(名称及び代表者の氏名)

私は、表に記載する業を営んでいるが、新型コロナウイルス感染症の発生の影響に起因して、下記のとおり、売上高等の減少が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

記

(表)

※表には、指定業種であって、売上高等の減少が生じている事業が属する業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を記載。当該指定業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する指定業種を左上の太枠に記載。

売上高等

(1) 令和元年10月から12月の企業全体の平均売上高等に対する、上記の表に記載した指定業種（以下同じ。）に属する事業の最近1ヶ月間の売上高等の減少額等の割合

(イ) 最近1か月間の売上高等

$$\frac{(B/3) - A}{C/3} \times 100 \quad \text{割合} \quad \%$$

A：申込時点における最近1か月間の指定業種に属する事業の売上高等 円

B：令和元年10月から12月の指定業種に属する事業の売上高等 円

C：令和元年10月から12月の企業全体の売上高等 円

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{B - (A+D)}{C} \times 100 \quad \text{割合} \quad \%$$

D：Aの期間後2か月間の指定業種に属する事業の見込み売上高等 円

(2) 企業全体の売上高等の減少率

(イ) 最近1か月間の売上高等

$$\frac{C/3 - E}{C/3} \times 100 \quad \text{減少率} \quad \%$$

E：Aの期間に対応する企業全体の売上高等 円

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{C - (E+F)}{C} \times 100 \quad \text{減少率} \quad \%$$

F：Eの期間後2か月間の企業全体の見込み売上高等 円

令和 年 月 日

川崎市証明経融第 号

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日

川崎市長 福田紀彦

(注1) 本様式は、前年以降、事業拡大等により前年比較が適当でない特段の事情がある場合で、指定業種に属する事業の売上高等の減少が申請者全体の売上高等に相当程度の影響を与えていることによって、申請者全体の売上高等が認定基準を満たす場合に使用する。

(留意事項) ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

②市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

これは計算書です。「申請書【様式第5-(イ)-⑮)】」を2枚用意してください

中小企業信用保険法第2条第5項第5号-(イ)-⑮の業種別売上高計算書

最近1か月間の売上高等

(令和 年) (月) (月) (月)

指定業種の 売上高等	A	D1	D2	D=(D1+D2)
全体の 売上高等	E	F1	F2	F=(F1+F2)

令和元年10月から12月の売上高等

(令和元年) (10 月) (11 月) (12 月)

指定業種の 売上高等	B1	B2	B3	B=(B1+B2+B3)
全体の 売上高等	C1	C2	C3	C=(C1+C2+C3)

(1)(イ)指定業種の最近1か月間の売上高等

$$\frac{\boxed{B/3} - \boxed{A}}{\boxed{C/3}} \times 100 = \boxed{\text{割合}} \%$$

(1)(ロ)指定業種の最近3か月間の売上高等の実績見込み

$$\frac{\boxed{B} - \boxed{A+D}}{\boxed{C}} \times 100 = \boxed{\text{割合}} \%$$

(2)(イ)企業全体の最近1か月間の売上高等の減少率

$$\frac{\boxed{C/3} - \boxed{E}}{\boxed{C/3}} \times 100 = \boxed{\text{減少率}} \%$$

(2)(ロ)企業全体の最近3か月間の売上高等の減少率の実績見込み

$$\frac{\boxed{C} - \boxed{E+F}}{\boxed{C}} \times 100 = \boxed{\text{減少率}} \%$$

○金融機関名

支店長名 (署名捺印)

○税理士または公認会計士 (署名捺印)